

楽しい

医学ラテン語講座

生体防御医学研究所
分子医科学分野

中山 敬一

初めの3枚のスライドは
とりあえず流してお聞き下さい

(後でじっくり解説します)

何となくイメージだけつかんで下さい

どのくらいわかりますか？

<i>Arteria</i>	(英 : artery)	動脈] -a で終わる 「女性」
<i>Vena</i>	(英 : vein)	静脈	
<i>Valva</i>	(英 : valve)	弁	
<i>Spina</i>	(英 : spine)	棘	
<i>Musculus</i>	(英 : muscle)	筋] -us で終わる 「男性」
<i>Nervus</i>	(英 : nerve)	神経	
<i>Ventriculus</i>	(英 : ventricle)	室	
<i>Ductus</i>	(英 : duct)	管	
<i>Os</i>	(英 : bone)	骨] -um で終わる 「中性」 ※不規則変化多い
<i>Ligamentum</i>	(英 : ligament)	靱帯	
<i>Cerebrum</i>	(英 : brain)	大脳	
<i>Epithelium</i>	(英 : epithelium)	上皮	

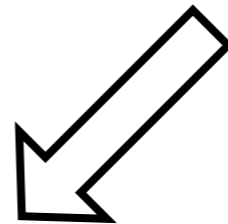
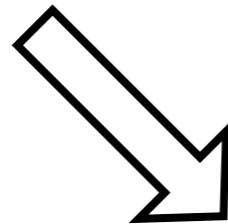
組み合わせると？

Valva (弁)

名・女・主

Aorta (大動脈)

名・女・主



Valva aortae (大動脈弁)

名・女・主 名・女・属

Valva mitralis (僧帽弁)

名・女・主 形・主

Musculus trapezius (僧帽筋)

名・男・主

形・主

僧帽って何？

僧帽

『1年生の解剖学辞典』～ 解剖学をこれから学ぶ人向けの用語解説 ～

僧帽とは、僧侶のかぶる帽子のことで、解剖学では、**僧帽筋**と**僧帽弁**に出てくるが、僧帽筋と僧帽弁とは、由来となっている帽子はまったく別の種類の帽子。ちなみに、ここに出てくる僧侶とは、日本の仏教のお坊さんではなく、（ヨーロッパの）キリスト教の聖職者のこと。

僧帽の付く用語 †

- ・ **僧帽筋**：修道僧のフード（cowl）の形に似ている
- ・ **僧帽弁**：儀式用の司教冠（mitra）の形に似ている

日本語の用語がつくられたとき、それらを区別せずに同じ言葉に訳してしまった。



図2 司教冠・ミトラ mitra
ローマ宗土や枢機卿が被るミトラと呼ばれる司教冠。冠の前後の三角に突き出た等長な形は、聖堂や臨目に使われるの面上に降り注いだ光を散らしているといわれます。



図3 折り紙で折った帽子
折り紙で、長をわけて各種の帽子を折って比較しました。紙製の司教冠ミトラはそのままではなく、ひっくり返すと僧帽弁が彷彿とさせます。



図4 断面図でみた僧帽弁
乳頭筋、腱膜を延べた僧帽弁の全容が見えます。ここに、司教冠ミトラをそのままではなく、逆様にして入るとピッタリ僧帽弁に代わることが分りました。



図5 修道士の頭巾付きコート
カプチン会修道士が被る茶色の頭巾付きコート（カプチーノ）の後ろ姿が、背部の筋肉、左右の僧帽筋の分布に似ていることから。

耳寄りな心臓の話（第38話）『僧帽弁は法王の冠』

『僧帽弁は法王の冠』より

ラテン語とは

何故、ラテン語なのか???

- ラテン語は**死語**（現在使用されていない言語）
 - 古代ローマ帝国**の公用語
 - 世界中に広まった
 - **ギリシャ語**の影響を強く受けている
- 自然科学・人文科学・哲学のための**知識階級の言語**
(特に医学、とりわけ**解剖学用語**)
- すなわち科学者としての**教養**であり、**プライド**である

Fools laugh at the Latin language.

ラテン語は美しい

- ラテン語は韻を踏むような美しい音感 (後述)
- ラテン語は簡潔を旨とする

***Veni, Vidi, Vici* (来た、見た、勝った)**

Gaius Iulius Cæsar

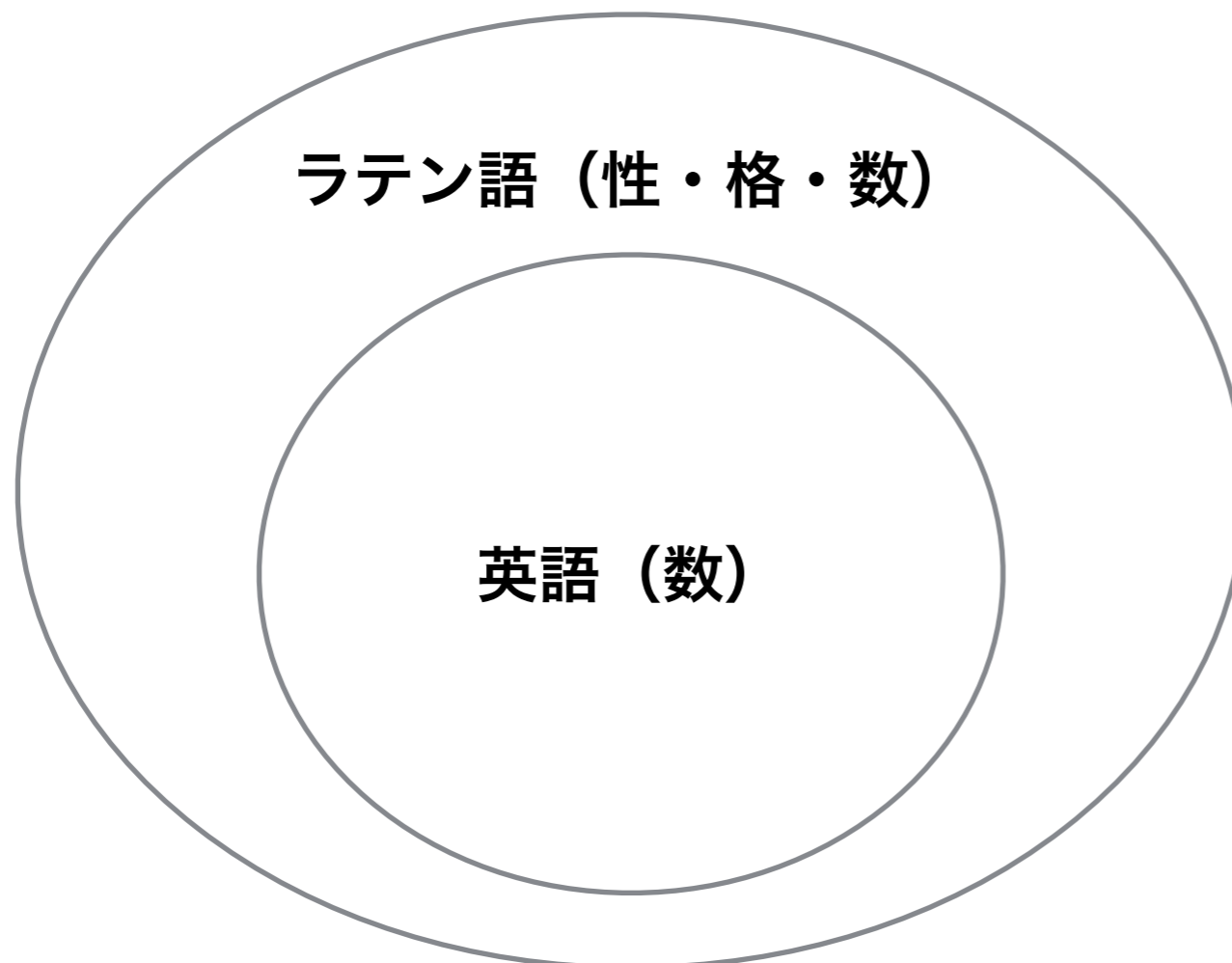
***Cogito ergo sum* (我思う、ゆえに我有り)**

René Descartes

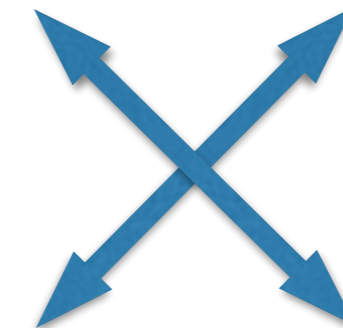
ラテン語 or 英語？

- ラテン語は英語を含む

ラテン語を知れば、英語はわかる
(逆は真ではない)



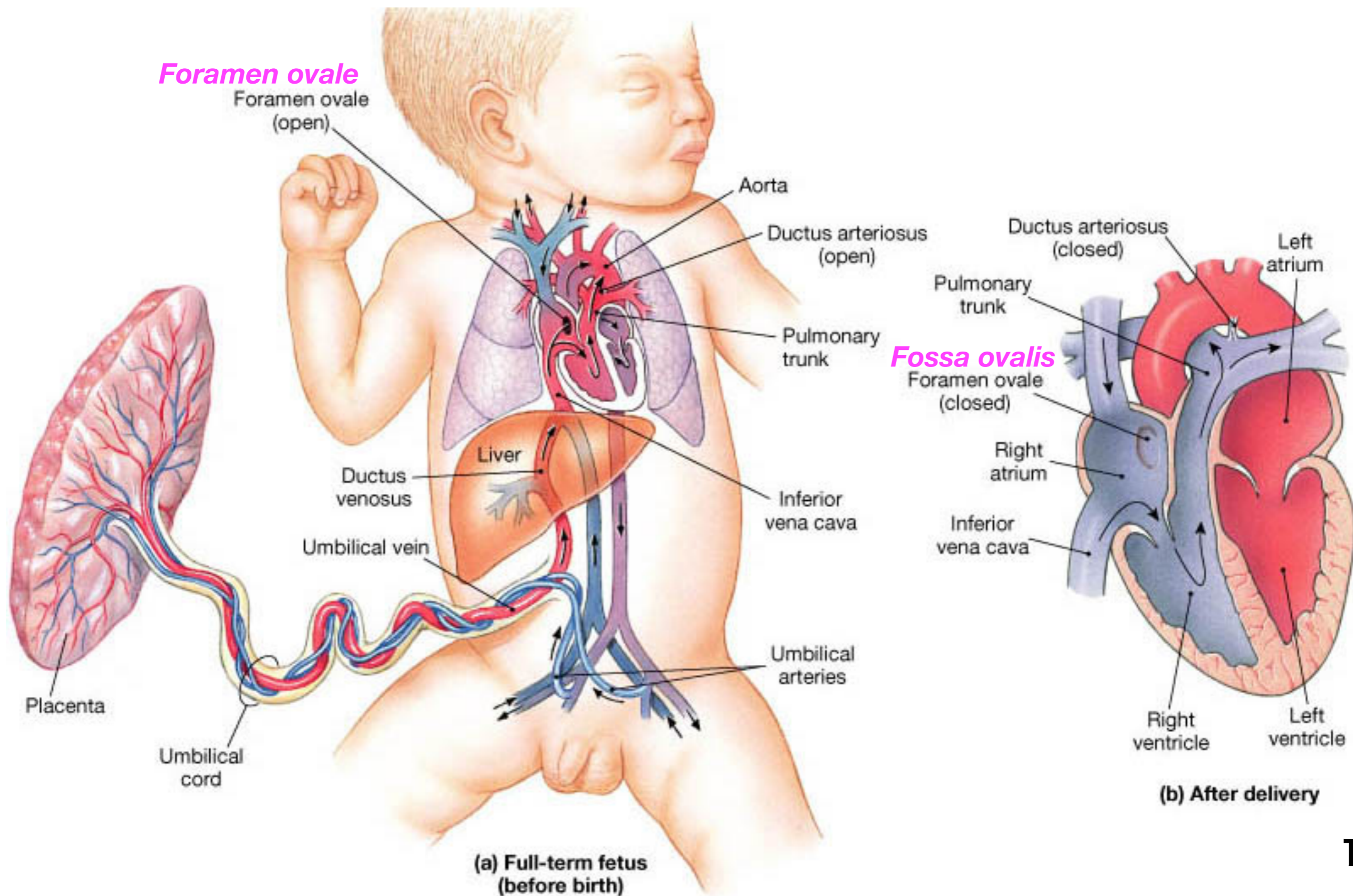
Aorta dorsalis (ラ)



Dorsal aorta (英)

(背側大動脈)

英語のほとんどはラテン語由来



ラテン語そのままの英語も多い

胎児

Foramen ovale
名詞 (中性主格単数) 形容詞 (中性主格単数)
※特殊変化

「孔」 「卵形の」
(卵円孔)

成人

Fossa ovalis
名詞 (女性主格単数) 形容詞 (女性主格単数)

「窩」 「卵形の」
(卵円窩)

日本語は世界では通用しない

- 論文はほとんど英語、留学では英語のみ
- 日本語は誤訳が多い

Musculus soleus (ラ)

Soleus muscle (英)

ヒラメ筋 (和)



Sole = シタバラメ
(ヒラメとは違う魚)



本来は「シタバラメ筋」が正しい!

ラテン語の原則

ラテン語は意外と簡単

- ラテン語は**本来難しい**

性・数・格が厳密で多い

→ 性は3つ (男・女・中)

→ 数は2つ (単・複)

→ 格は6つ (主・属・与・対・呼・奪)

※計36通りある

- しかし医学ラテン語においては**覚えるべきことは少ない**

名詞と形容詞のみでOK

主格と属格だけでOK

複数属格はほとんど出てこない (無視していい)

医学ラテン語の基本形

基本は下の3つしかない（簡単！）

① 名詞（主）

② 名詞（主） + 名詞（属）

③ 名詞（主） + 形容詞（主）

●第一変化（名詞と同じ）

●第二変化（-is/-e）

性・数・格
一致の原則（③のみ）

名詞

名詞の性（単数主格の場合）

一般法則は簡単（8割方は当てはまる）

① 女性（多くが **-a** で終わる）

Arteria (動脈), *Vena* (静脈), *Cochlea* (蝸牛), *Trachea* (気管),
Maxilla (上顎骨), *Mandibula* (下顎骨), *Scapula* (肩甲骨), etc.

② 男性（多くが **-us** で終わる）

Nervus (神経), *Musculus* (筋肉), *Bronchus* (気管支),
Esophagus (食道), *Thymus* (胸腺), *Thalamus* (視床), etc.

③ 中性（多くが **-um** で終わる）

Ovum (卵), *Duodenum* (十二指腸), *Cerebellum* (小脳),
Epithelium (表皮), *Ligamentum* (靭帯), *Medium* (中央), etc.

名詞の語尾変化

	単数		複数	
	主格	属格	主格	属格
女性	-a	-ae	-ae	<i>-arum</i>
男性	-us	-i	-i	<i>-orum</i>
中性	-um	-i	-a	<i>-orum</i>
	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	

Tip (1): 複数属格は滅多に使わないので覚えなくても良い

Tip (2): 男性と女性では、(複)と(属)が同じになる

Tip (3): 男性(属)と中性(属)はどちらも「-i」

Tip (4): 女性(主)と中性(複)はどちらも「-a」→間違えやすいので注意

名詞 (主) + 名詞 (屬)

Fundus uteri (男・主 + 男・屬) 子宮底

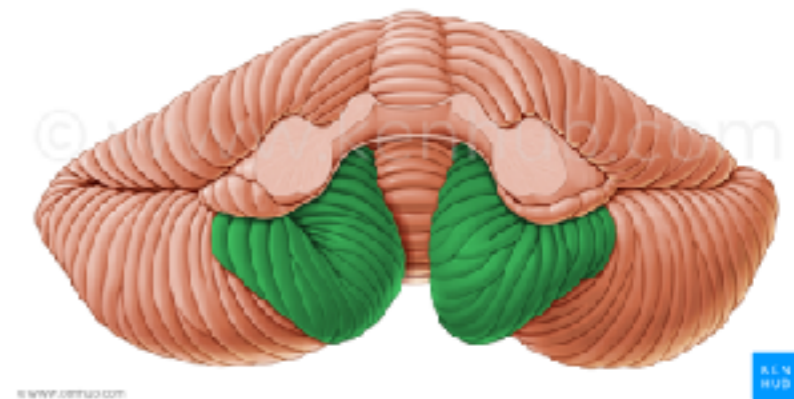
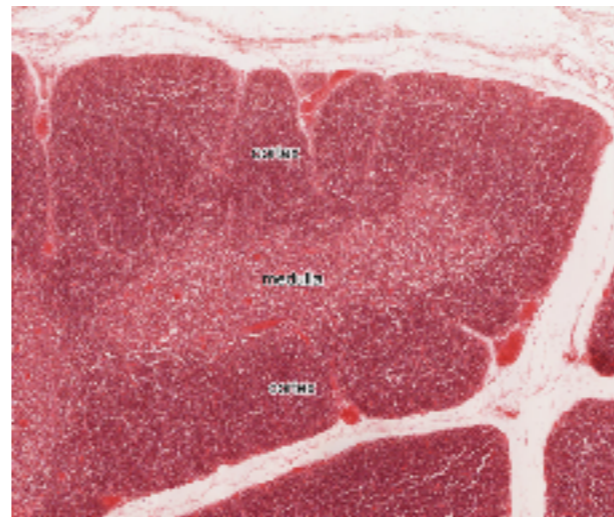
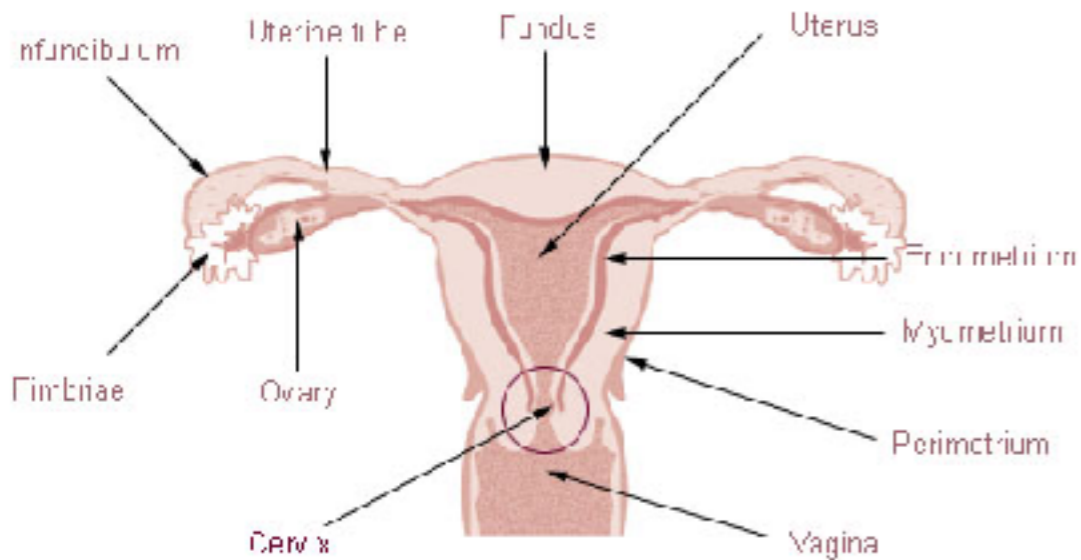
※*Uterus* (男)

Medulla thymi (女・主 + 男・屬) 胸腺髓質

※*Thymus* (男)

Tonsilla cerebelli (女・主 + 中・屬) 小腦扁桃

※*Cerebellum* (中)



特殊な名詞

1. ギリシャ語に由来するもの

-os で終わるもの = 男性 (複数や属格は *-ī*)

Mesonephros (中腎), *Polocytos* (極細胞), *etc.*

-on で終わるもの = 中性 (複数 *-a*, 属格 *-ī*)

Colon (結腸), *Mitochondrion* (ミトコンドリア), *Ganglion* (神経節),
Phenomenon (現象), *Telencephalon* (終脳), *etc.*

-ma で終わるもの = 中性

Asthma (喘息), *Derma* (皮膚), *Ependyma* (上衣), *Sarcoma* (肉腫), *etc.*

2. 第三変化 (語尾変化は複雑なので省略)

-or で終わるもの = 男性

Flexor (屈筋), *Extensor* (伸筋), *Levator* (挙筋), *Abductor* (外転筋),
Adductor (内転筋), *Tumor* (腫瘍), *Tremor* (振戦), *etc.*

-er で終わるもの = 男性

Cancer (癌), *Masseter* (咬筋), *Vomer* (鋤骨), *etc.*

知っておくべき名詞

1. 全体・部分

Caput (中) 頭
Collum (中) 頸
Cervix (女) 頸
Corpus (中) 体
Cauda (女) 尾
Cornu (中) 角
Columna (女) 柱
Pyramis (女) 錐体
Bulbus (男) 球
Globus (男) 球
Lobus (男) 葉
Plexus (男) 叢
Fundus (男) 底
Radix (女) 根
Margo (男) 縁
Pars (女) 部分

2. 形

Linea (女) 線
Arcus (男) 弓
Stria (女) 条
Raphe (女) 縫線
Angulus (男) 角
Apex (男) 尖
Crista (女) 稜
Papilla (女) 乳頭
Spina (女) 棘
Condylus (男) 顆
Processus (男) 突起
Tuberculum (中) 結節
Facies (女) 面
Cavum (中) 腔
Cavitas (女) 窩
Fovea (女) 窩
Fossa (女) 窩
Fissura (女) 裂
Hiatus (男) 裂孔

Impressio (女) 圧痕
Incisura (女) 切痕
Sinus (男) 洞
Sulcus (男) 溝
Capsula (女) 被膜
Saccus (男) 囊
Cisterna (女) 槽
Vestibulum (中) 前庭
Atrium (女) 房
Canalis (男) 管
Ductus (男) 管
Septum (中) 中隔
Apertura (女) 開口
Ostium (中) 口
Fenestra (女) 窓
Foramen (中) 孔

縮小名詞

縮小名詞とは「小さいもの」を表す語尾を有する名詞である
(*ell, ill, ul, ol*)

-ell がつくもの

Cerebrum (大脳) → *Cerebellum* (小脳)

-ill がつくもの

Fibra (線維) → *Fibrilla* (原線維)

※*Neurofibrillary tangle* (神経原線維変化)

-ul がつくもの

Tubus (管) → *Tubulus* (細管)

※*Microtubule* (微細管) → *Microtube* は間違い

-ol がつくもの

Nucleus (核) → *Nucleolus* (核小体)

※縮小名詞の性はもとの名詞と同じ

形容詞

医学ラテン語の基本形

基本は下の3つしかない（簡単！）

① 名詞（主）

② 名詞（主） + 名詞（属）

③ 名詞（主） + 形容詞（主）

●第一変化（名詞と同じ）

●第二変化（-is/-e）

性・数・格
一致の原則（③のみ）

形容詞

- 形容詞は大きく分けて、**第一変化**と**第二変化**がある
 - **第一変化** = 名詞と同じ
(**-us** = 男、**-um** = 中、**-a** = 女)
 - **第二変化** = **-is** (男・女) または **-e** (中) で終わる

※どちらにせよ、主格 (単・複) さえ覚えればOK

形容詞（第一変化）

- 第一変化 = 名詞と同じ（属格は覚える必要なし）

	単数		複数	
	主格	属格	主格	属格
女性	-a	<i>-ae</i>	-ae	<i>-arum</i>
男性	-us	<i>-i</i>	-i	<i>-orum</i>
中性	-um	<i>-i</i>	-a	<i>-orum</i>
	Ⓢ		Ⓜ	

Globus pallidus (淡蒼球), *Processus spinosus* (棘突起), *Substantia nigra* (黒質),

Vertebrae thoracicae (胸椎), *Septum pellucidum* (透明中隔), *Colon sigmoideum* (S状結腸), etc.

形容詞（第二変化）

- 第二変化 = 最後に **-is** (男・女) または **-e** (中) がつく

	単数		複数	
	主格	属格	主格	属格
女性	-is	<i>-ae</i>	-es	<i>-arum</i>
男性	-is	<i>-i</i>	-es	<i>-orum</i>
中性	-e	<i>-i</i>	-ia	<i>-orum</i>
	⊕		⊕	

Nervus facialis (顔面神経), *Vertebrae cervicales* (頸椎), *Os frontale* (前頭骨),
Aorta abdominalis (腹部大動脈), *Ganglion trigeminale* (三叉神経節), etc.

形容詞（比較級）

男性・女性

中性

大きい

major

majus

小さい

minor

minus

前の

anterior

anteriorius

後の

posterior

posteriorius

上の

superior

superius

下の

inferior

inferius

内の

interior

interius

外の

exterior

exteriorius

形容詞（位置を表す用語）

男性・女性

中性

右の

dextrus/-a

dextrum

左の

sinistrus/-a

sinistrum

上行

ascendens

ascendens

下行

descendens

descendens

外側

lateralis

laterale

内側

medialis

mediale

近位

proximalis

proximale

遠位

distalis

distale

まとめ

医学ラテン語の基本形

基本は下の3つしかない（簡単！）

① 名詞（主）

② 名詞（主） + 名詞（属）

③ 名詞（主） + 形容詞（主）

●第一変化（名詞と同じ）

●第二変化（-is/-e）

性・数・格
一致の原則（③のみ）

参考図書

① **医学・歯学ラテン語教本**

加藤 信一 著 (杏林書院, 1972)

1,782 円

② **図解 解剖学事典**

H. Feneis 著、山田 英智 監訳 (医学書院, 1974)

4,104 円

③ **解剖学用語の理解とおぼえ方**

吉岡 修一郎、栗屋 和彦 著 (医学書院, 1969)

絶版 (中古 4,104 円)

④ **解剖学用語とその解説**

吉岡 修一郎、栗屋 和彦 著 (医学書院, 1967)

絶版 (中古 29,800 円)